令和５年内子町消防出初式 功績をたたえ74人を表彰――

３年ぶりの開催となった「令和５年内子町消防出初式」は２月19日、共生館で行われました。小野植正久町長や菊地幸雄町議会議長をはじめ多数の関係者が出席し、功績のあった団員や関係者を表彰しました。

受章者は次のとおりです。

日本消防協会長表彰

（功績章）

五十崎方面隊

副団長　船田辰雄

（精績章）

内子方面隊

副団長　渡部文人

小田方面隊

副団長　道岡定茂

（勤続章）

内子方面隊

大瀬分団　団員　大野光信

立川分団　団員　水野　章

満穂分団副分団長　上田和志

五十崎方面隊

中央分団　部長　稲月伸次

小田方面隊

田渡分団　分団長　大森栄次

田渡分団副分団長　寺岡和一

愛媛県知事表彰

（功労章）

内子方面隊

満穂分団副分団長　上田和志

五十崎方面隊

天神分団副分団長　沼井高志

御祓分団副分団長　深井賢一

小田方面隊

田渡分団　分団長　大森栄次

愛媛県消防協会長表彰

（功績章）

内子方面隊

大瀬分団　分団長　木下松吉

五十崎方面隊

五十崎分団分団長　矢野良平

御祓分団　分団長　久保　茂

（勤続章）

内子方面隊

内子分団　班長　高田武志

内子分団　班長　宮瀬信治

内子分団　班長　酒井勝也

内子分団　班長　熊野健志

大瀬分団　班長　仙井俊明

大瀬分団　班長　宮田敦義

大瀬分団　班長　鎌田貴康

大瀬分団　班長　福本千寿

立川分団　班長　伊達雅人

立川分団　班長　忽那安紘

立川分団　班長　武田英昭

立川分団　班長　萬奥修一

立川分団　班長　徳永和広

五十崎方面隊

天神分団　班長　横道龍治

平岡分団　部長　城本英二

御祓分団　班長　北岡弘行

小田方面隊

参川分団　班長　相原竜士

参川分団　班長　大田　等

小田分団　班長　寺井充宏

感謝状（個人）

山田副団長の姉　山田敏恵

感謝状（団体）

小田自主防災会　会長　西口邦彦

臼杵自主防災会　会長　中田豊茂

大洲喜多消防団連合会長表彰

（勤続章）

内子方面隊

五城分団　団員　六車英親

大瀬分団　団員　田村夢基

大瀬分団　団員　石森信之

立川分団　団員　大森真一

五十崎方面隊

天神分団　班長　山田敏直

平岡分団　団員　大森敦司

平岡分団　団員　松岡茂雄

平岡分団　団員　中池竜也

平岡分団　団員　児玉芳樹

内子方面隊

内子分団　団員　生口武志

大瀬分団　団員　中塚照明

立川分団　団員　浦賀典夫

満穂分団　班長　石岡隆則

五十崎方面隊

中央分団　団員　亀岡健一朗

小田方面隊

田渡分団　団員　大森邦昭

内子町長表彰

女性分団　団員　高嶋由久子

女性分団　団員　西田由起子

内子方面隊

内子分団　団員　新上直幸

大瀬分団　団員　山田将大

大瀬分団　団員　大森竜次

立川分団　団員　山田正樹

五十崎方面隊

五十崎分団　団員　岩井健剛

五十崎分団　団員　亀岡祐司

五十崎分団　団員　門田直洋

五十崎分団　団員　永田典明

五十崎分団　団員　小野祥吾

平岡分団　班長　津田真吾

小田方面隊

参川分団　班長　西田　祥

参川分団　団員　佐野晋平

※順不同、敬称略

無火災表彰

（3年間）　立川分団

（2年間）　御祓分団　五十崎分団　田渡分団　満穂分団　平岡分団　参川分団

（1年間）

1_「地域から信頼される消防団になるようまい進する」と訓示を述べた谷岡和彦団長　2_ファンファーレを鳴らすラッパ隊　3_受章者を代表して謝辞を述べた上田和志さん（満穂分団）　4_式の様子　5_内子町長表彰を受けた女性分団の髙嶋由久子さん　6_規律正しい式典となった

未来を担う子どもたちが環境会議 踏み出そう、地球を守る第一歩――

子どもたちが地球の環境を考える「令和４年度内子町環境子ども会議」（内子町・内子町教育委員会主催）が２月８日、共生館で開かれました。

町内の中学１年生約120人が会場に集まったほか、小学生がオンラインで参加。会議では今治城自然科学館長・村上圭司さんの「人間の活動と絶滅した動物たち」と題した講演を聴いた後、中学生が風力発電装置の製作に挑戦しました。村上さんは「環境に関心を持って、できることからコツコツやっていこう」と呼びかけました。

森本大空斗さん（五十崎中１年）は「人間のせいで生物が絶滅しないよう、できることを実践したい。装置もうまく作れて楽しかった」と話しました。

1_風車を使って発電する装置を作る生徒たち　2_発電の仕組みや作り方のポイントなどを説明する村上さん　3_完成した風力発電装置

学生たちの視点をまちづくりに――大学と住民組織によるシンポジウム

「気軽にコミュニティ・カレッジin内子」（同懇話会、愛媛大学ほか共催）のシンポジウムが２月14日、内子自治センターで開かれました。４年度の講座を締めくくるもので、オンライン配信と合わせて約70人が受講。通常は愛媛大学の教授などの講演が行われますが、今回は若い世代にも興味を持ってほしいと高校生と学生が登壇しました。

大洲農業高校の生徒３人は、青色に染めた芭蕉和紙を使った果実袋について発表。「ぶどうの着色が改善するほか、プラスチックの削減にも貢献できる。商品化して持続可能な農業を実現したい」と研究成果を紹介しました。そのほか、愛媛大学の寺谷研究室と井口研究室の学生による発表もあり、参加者は「素晴らしい発表ばかりだった。今後も注目したい」と期待を膨らませていました。

1_受講者でいっぱいとなった会場　2_井口研究室が調査した土居通康氏の記憶画（複製）

お詫びと訂正　２月号掲載の「駅伝競走大会」の記事に、お名前のルビの誤りがありました。お詫びして訂正いたします。誤：河野権進さん→正：河野権進さん